

倉敷芸術科学大学で学ぶこと

—教育の目標と方針—

(27 生対象)

「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」は、倉敷芸術科学大学の建学の理念を実現するために、各学部、学科で定められた教育の目標と方針をまとめたものです。新入生のみなさんは、これらの目標と方針に沿って、倉敷芸術科学大学の学生として必要とされる知力、人間力等の能力を身につけ、最終的な目標である卒業に向けて4年間学習を進めていきます。「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を読むことで、みなさんがどのような人材になることができるかがわかります。

みなさんの学習を充実させるために、次のように活用してください。

- 1) 入学時に自分の所属している学部・学科の目標と方針を読んで、各自の体系的な学習設計をしましょう。
- 2) 「倉敷芸術科学大学で学ぶこと」を定期的に読み返して、卒業に向けての学習がどれくらい進んでいるかを各自でチェックしましょう。必要に応じて各自の学習設計を見直しましょう。

「カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表」の見方

各授業科目がディプロマポリシーにどの程度関連しているかを表にまとめたものです。

「カリキュラム・ツリー」の見方

カリキュラムの進行をフローチャートで示したもので、各授業科目相互の関連性と授業の展開が描かれています。ディプロマポリシーを達成するには、どの授業をどの順序に履修すればよいのかがわかります。

●建学の理念

ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として 社会に貢献できる 人材を養成する

●ミッションステートメント

加計学園は、全ての人が生涯にわたって学べる「教育の場」を提供し、教育を通して科学する心を育み、調和のとれた人格と国際性を涵養することによって、世界の平和に貢献できる人材を輩出する。

●教育の理念

大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨に則り、芸術と科学に関する学術を深く教育研究し、創造性豊かな人材を養成して、社会の発展に寄与することを目的とする。

学部ごとの教育研究上の目的および人材の養成に関する目的

学部	教育研究上の目的および人材養成の目的
芸術学部	優れた創造性と深い専門領域の知識や技能を身につけながら人間性を培い、それぞれの感性と教養を通して各種の産業、行政、教育機関等の場で活躍できる人材を養成する。
生命科学部	生命科学は生命を取り巻く諸関連科学の総称であるが、生命に関する幅広い教養的知識を身につけ、生命科学の専門的知識・技能を生かして、社会のかかえている問題解決に貢献できる人材を養成する。
危機管理学部	危機管理の基礎知識と経営・経済活動に影響を及ぼす事象に関する専門知識を学び、さらに、幅広い教養的知識を身に付け、将来、学生が活動する企業、自治体、各種団体等における課題を発見し、主体的に様々な人々と連携し、その課題解決のために自ら行動できる人材を養成する。

学科ごとの教育目標

学部	学科	教育目標
芸術学部	メディア映像学科	新しいメディア環境に対応した芸術表現の創造と産業の関わりに向けて、幅広い知識と専門領域の技術を身につけて、積極的に社会参加できる人材の養成を目標とする。
	デザイン芸術学科	デザイン、美術、工芸の諸領域を幅広く融合した総合的な芸術教育研究を行うことを目的とする。個別の領域の専門家であるだけでなく、総合的な見地から社会、産業、生活のニーズに対して新たな価値を創出できる人材の養成を目標とする。
生命科学部	生命科学科	生命化学、食品科学、環境科学、水産科学および医用工学の各分野で生命を支える生命科学を教育し、持続的な社会形成に貢献できる人材の養成を目標とする。
	健康科学科	保健科学や運動科学の面から人間の健康をとらえることができ、人間を取り巻く環境との関わりの中で21世紀の健康生活に貢献できる人材の養成を目標とする。
	動物生命科学科	急速に変化しつつある現代社会に新たな視野をもって対応し、動物と人間の関わり合いの領域を中心に、より良い社会環境、生活環境の構築のために働くことのできる人材の養成を目標とする。
	生命医科学科	癌診断のスペシャリストである細胞検査士や臨床検査技師、さらには疾患治療基盤の確立を志向する医療人の養成を目標とする。
危機管理学部	危機管理学科	既存の産業のみならず新興分野にも有用な専門的知識・技術を生かして、地域社会にかかえている経営・経済問題の解決に貢献できることに加えて、経営・経済活動に直結、もしくはそれに多大な影響を与える分野に関する危機管理の知識をもあわせて身につけることにより、企業や社会の持続的な発展に寄与できる人材の養成を目標とする。

倉敷芸術科学大学が掲げる3つのポリシー

倉敷芸術科学大学のミッション（社会的使命）

倉敷芸術科学大学は、その建学の精神および教育理念に基づいて、本学のミッション（社会的使命）を次の通り定めています。

1. 専門的知識・技能の高い職業人の養成
2. 幅広い教養と豊かな人間性を備えた社会人の養成
3. 地域社会に貢献できる人材の養成
4. 芸術と科学に関する創造性豊かな人材の養成

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

倉敷芸術科学大学は、ミッションに掲げる人材の養成を目指したカリキュラムにおいて、所定の単位を取得し、次の条件を満たした学生に対して、卒業を認定し学位を授与します。

1. 各学部・学科で修得した専門的な知識や技能を生かして、専門領域で活躍できる職業人としての力量を有していること
2. 自らが社会の一員であることを自覚し、幅広い教養と豊かな人間性を備えた、良き社会人として活躍できる力量を有していること
3. 地域社会の構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍できる力量を有していること
4. 科学的な思考ができる芸術エキスパート、またはデザインセンスを備えた科学エキスパートとして活躍できる力量を有していること

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

倉敷芸術科学大学は、ミッションを追求し達成するために、「専攻科目」と「教養科目」の2つのカテゴリーに大分類される科目群の上に立ち、それぞれの人材養成を目指したカリキュラム（教育課程）を次の方針に基づいて構築します。

1. 各学部・学科の「専攻科目」では、基礎から応用への系統性と理論と実践の統合性に配慮した体系的な編成
2. 幅広い教養と豊かな人間性を育成するための「教養科目」では、大学での学びの基礎となる導入科目から始まり、文化と芸術、文化と社会、生活と科学、外国語、保健体育の各系列に沿った体系的な配置
3. 地域のまちづくりや文化活動を実践するための科目として、関連した学部・学科の専攻科目、地域連携・キャリア教育科目系列の配置
4. 芸術と科学を別々に探究するのではなく、両者を協調ないしは融合して新たな価値を創造するための科目として、教養科目「芸術と科学の協調」推奨科目群等の配置

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

倉敷芸術科学大学は、ミッションを追求し達成するために、目的意識と学習意欲の高い生徒・学生・社会人等に広く門戸を開放します。特に次のことに興味や関心を持つ入学者を受け入れる方針とします。

1. 芸術、生命科学、危機管理のいずれかの分野の職業に就きたい人
2. 幅広い教養と豊かな人間性を備えた社会人として活躍したい人
3. 地域のまちづくりや文化活動に興味や関心があり、地域社会に貢献したい人
4. 芸術を究めるだけでなく科学も学びたい人、または科学を究めるだけでなく芸術も学びたい人

●学部学科ごとのディプロマポリシー（2021年度）

<p>○倉敷芸術科学大学のミッション（社会的使命）</p>	<p>○ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） 次の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。</p>
<p>1. 専門的知識・技能の高い職業人の養成</p>	<p>芸術学部 メディア映像学科 (1) メディア、メディアコンテンツに関する知識を身につける。 (2) メディアコンテンツに関する技術力を身につける。 (3) メディアコンテンツに関する構成力を身につける。 (4) メディアコンテンツに関する表現力を身につける。 (5) メディアの諸領域を融合した総合的なコンテンツ制作の応用的知識及び技能を身につけ、専門分野の諸問題を自ら解決できる。</p> <p>芸術学部 デザイン芸術学科 (1) デザイン、美術工芸に関する知識を身につける。 (2) デザイン、美術工芸に関する技術力を身につける。 (3) デザイン、美術工芸に関する構成力を身につける。 (4) デザイン、美術工芸に関する表現力を身につける。 (5) デザイン、美術工芸の諸領域を融合した総合的なデザイン芸術の応用的知識及び技能を身につけ、専門分野の諸問題を自ら解決できる。</p> <p>生命科学部 生命科学科 (1) 生命科学に関する基礎的な知識や技能を身につける。 (2) 生命科学に関する専門的な知識や技能を身につける。 (3) 生命科学に関する実践的な知識や技能を身につける。 (4) 専門分野の諸問題を自ら解決できる力を身につける。</p> <p>生命科学部 健康科学科 (1) 健康科学分野の基礎的な知識を身につける。 (2) 健康科学分野の専門的知識・技能を身につける。 (3) 健康科学分野の実践的知識・技能を身につける。 (4) 専門分野の諸問題を自ら解決できる力を身につける。</p> <p>生命科学部 動物生命科学科 (1) 動物や動物医療に関する基礎的な知識および技能を身につける。 (2) 動物看護・動物実験に関する知識および技能を身につける。 (3) 知識・技能を実際の現場に応用できる力を身につける。 (4) 専門分野の諸問題を解決できる力を身につける。</p> <p>生命科学部 生命医科学科 (1) 臨床検査医学に関する基礎的な知識、技能および倫理観を身につける。 (2) 臨床検査医学に関する専門的な知識、技能および倫理観を身につける。 (3) 臨床検査医学に関する実践的な知識、技能および倫理観を身につける。 (4) 臨床検査医学に関する専門分野の諸問題を自ら解決する力を身につける。</p> <p>危機管理学部 危機管理学科 (1) 経済・経営分野の知識を身につける。 (2) 社会人として活躍するための危機管理に関する基礎的な知識および技能を身につける。 (3) 経済・経営分野に関連する危機管理の知識及び技能を身につけ、一般企業、官公庁などの事業継続計画（BCP）を立案できる。 (4) 専門分野の諸問題を自ら解決できる。</p>
<p>2. 幅広い教養と豊かな人間性を備えた社会人の養成</p>	<p>全学科共通 (1) 大学での学びの基礎となる資質能力を身につける。 (2) 人間の本質を理解し、人間性を尊重できる。 (3) 社会との関わりを認識し、論理的・批判的思考力を身につける。 (4) 自然との関わりを認識し、論理的・批判的思考力を身につける。 (5) 異文化理解を深め、コミュニケーション能力を身につける。 (6) 健康的な生活を営むことができる。</p>
<p>3. 地域社会に貢献できる人材の養成</p>	<p>全学科共通 ・地域社会の構成員として活躍できる。</p>
<p>4. 芸術と科学に関する創造性豊かな人材の養成</p>	<p>全学科共通 ・芸術的なセンスや科学的な思考法に基づいた豊かな創造性を持って活躍できる。</p>

●学部学科ごとのカリキュラムポリシー (2021年度)

○倉敷芸術科学大学のミッション (社会的使命)	○カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施の方針) 「専攻科目」と「教養科目」から構成され、それぞれの人材養成を目指したカリキュラム (教育課程) を次の方針に基づいて構築する。					
1. 専門的知識・技能の高い職業人の養成		1年次	2年次	3年次	4年次	
	芸術学部	メディア 映像学科	選択した複数の専門分野でコンテンツ制作の基礎を学び、クリエイターとしてのセンスを磨く。	基礎を踏まえ専門分野の中から自分の関心と適性を考慮し、最低3分野を選択して学ぶ。	1分野を選択し、少人数制の実習科目の中で、より高度で専門的な学修を行う。	卒業制作・課題研究を行い、独自の表現を社会へ発信する力を身につける。
	デザイン芸術学科	デザイン、美術工芸の歴史と理論、および平面・立体の基礎造形を学ぶ。プロジェクト演習ではグループワークに取り組む。	デザイン領域およびアート領域の理論と演習科目を自由に組み合わせて幅広く学び、自分の専門性を見きわめる。総合プロジェクト演習ではプレゼンテーション技術を身につける。	1分野を選択し、実習科目を通してより専門的に学ぶ。総合プロジェクト実習では企業や地域と連携し、領域横断的な応用力と実践力を身につける。	選択した領域・分野で学んだ専門性と、総合プロジェクト科目で身につけた総合性の両面から、自らのテーマで集大成としての卒業研究に取り組む。	
	生命科学部	生命科学科	生物や化学に関する基礎的な知識や技能を身につけ、自分の進路の大まかな選択を行い、大学生基礎力を養う。	自分の進路の専門的な知識や技能を深める。また生命倫理や科学者としての心得を養うとともに、社会に必要な能力の基礎を身につける。	後期には研究室配属をおこない、さらに専門性を高め、これまでに学んだ基礎的、専門的な知識や技能を応用し、実践的な力を身につける。	卒業研究および病院実習等の実践的なテーマに取り組み、問題解決力を身につけるとともに、様々な資格取得にも挑戦する。
	生命科学部	健康科学科	身体の仕組み、機能と役割など健康科学分野の基礎を学び、4年後の夢の実現に向けた学科特別授業も行う。	学んだ基礎的知識をさらに深め、修得コースを選択・確定し、より専門性の高い講義・実習を行う。	ゼミナールとして、興味のある研究分野の研究室に配属し、研究活動を通してより深く学ぶ。	将来を見据えて現場実習を実施。またゼミナールで得た知識を発展させ、卒業研究を行う。
	生命科学部	動物生命科学科	動物医療や生命科学を学ぶうえで基礎となる科目を中心に、専門職として不可欠な倫理や法規についても学ぶ。	動物看護・動物実験の根幹を成す科目を履修し、基礎と実践をつなぐ重要な内容を講義と実習の両方から学ぶ。	講義・実習のいずれも、より実践的に学び、動物臨床や研究の現場で求められる技術と知識を修得する。	さまざまな実践の機会を通じ、「考える力」や「伝える力」、「問題を発見・解決する力」を身につける。
	生命科学部	生命医学科	臨床検査医学に関する基礎的知識、技能および倫理観を修得する。	臨床検査医学に関する専門的な知識、技能および倫理観を修得する。	臨床検査医学に関する実践的な知識、技能および倫理観を修得する。	臨床検査医学に関する諸問題に対し、自ら解決できる力を修得する。
危機管理学部	危機管理学科	危機管理学および経営学・経済学の基礎、ならびに情報セキュリティの知識の基礎を身につけるとともに、ゼミナールや概論科目を通じて大学での学びや進路選択の指針とする。	1年次で学んだ基礎知識をさらに深め、より専門性の高い知識と技能を学ぶことにより、広い視野と深い学びを追求する。	より専門性の高い講義や演習・実習を通じて専門分野の学習をさらに深めるとともに、興味ある研究分野の研究室に配属し、研究活動を通じてより深く学ぶ。	卒業研究として、専門的論文の講義を通じて専門分野からさらにテーマを絞った研究活動を実践し、締めくくりとして、卒業論文にまとめる。	
2. 幅広い教養と豊かな人間性を備えた社会人の養成	全学科共通 ・大学での学びの基礎となる「導入科目」を1年次に配置する。 ・幅広い教養を身につけるために、「文化と芸術」「文化と社会」「生活と科学」を「専攻科目」と並行して学べるよう、すべての年次を対象として配置する。 ・異文化の理解を促進するために、「外国語」を1年次 (または2年次) に配置する。 ・健康的な生活について学ぶために「保健体育」を1年次に配置する。					
3. 地域社会に貢献できる人材の養成	全学科共通 ・「地域連携・キャリア教育科目」と「くらしき若衆科目」を配置する。					
4. 芸術と科学に関する創造性豊かな人材の養成	全学科共通 ・教養科目「芸術と科学の協調」と「芸術と科学の協調」推奨科目群を配置する。					

メディア映像学科専攻科目 (27 生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数		授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習			実験・実習	1-(1) メディア、メディアコンテンツに関する知識を身につける。	1-(2) メディアコンテンツに関する技術力をつける。	1-(3) メディアコンテンツに関する構成力を身につける。	1-(4) メディアコンテンツに関する表現力を身につける。	1-(5) メディアの諸領域を融合した総合的なコンテンツ制作の応用的知識及び技能を身につけ、専門分野の諸問題を自ら解決できる。
				前	後	前	後	前	後	前	後										
芸術学	西洋美術史	2	○	2							30	60		○							
	芸術文化論	2	○		2						30	60		○							
	現代芸術論	2	○		2						30	60		○							
	デザイン史	2	○	2							30	60		○							
	色彩学	2	○	2							30	60		○							
メディア映像理論	構成論	2	○		2						30	60		○		○					
	アニメーション概論	2	○	2							30	60		○				○			
	グラフィックデザイン概論	2	○	2							30	60		○					○		
	映像概論	2	○	2							30	60		○					○		
	デジタル画像	2	○		2						30	60		○	○				○		
	ユニバーサルデザイン論	2	○			2					30	60		○					○		
	情報デザイン概論	2	○		2						30	60		○					○		
	認知科学概論	2	○		2						30	60		○					○		
	映像音響概論	2	○		2						30	60		○		○			○		
	メディア・アート論	2	○			2					30	60		○			○		○		
	ゲームプロデュース論	2	○			2					30	60		○		○			○		
	映像特論	2	○					2		2	30	60		○					○		
	デザイン特論	2	○					2			30	60		○					○		
	シナリオ論	2	○		2						30	60		○					○		
	コンテンツ表現論Ⅰ	2	○			2					30	60		○		○			○		
コンテンツ表現論Ⅱ	2	○				2				30	60		○					○			
メディア映像基礎	アニメーション基礎	2	●A		4						60	30		○	○	○	○	○	○		
	映像基礎	2	●A	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	マンガ基礎	2	●A	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	デザイン基礎	2	●A	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	写真基礎	2	●A	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	造形基礎演習Ⅰ	2	○	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	造形基礎演習Ⅱ	2	○	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	造形基礎演習Ⅲ	2	○	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	イラストレーション基礎	2	●A	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	サウンドデザイン演習	2	○		4						60	30		○	○	○	○	○	○		
	サウンドデザイン実習	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	○		
	2DCG	2	●A	4							60	30		○	○	○	○	○	○		
	3DCGⅠ	2	○		4						60	30		○	○	○	○	○	○		
	3DCGⅡ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	○		
	音声技術	2	○		4						60	30		○	○	○	○	○	○		
映像・放送	映像演習	2	●B		4						60	30		○	○	○	○	○	○		
	映像・放送実習Ⅰ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	映像・放送実習Ⅱ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
マンガ・アニメ	映像・放送実習Ⅲ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	アニメーション演習	2	●B		4						60	30		○	○	○	○	○	△		
	アニメーション実習Ⅰ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	アニメーション実習Ⅱ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	アニメーション実習Ⅲ	2	○			2	2				60	30		○	○	○	○	○	△		
コミックイラスト	マンガ演習	2	●B		4						60	30		○	○	○	○	○	△		
	マンガ実習Ⅰ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	マンガ実習Ⅱ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	マンガ実習Ⅲ	2	○			2	2				60	30		○	○	○	○	○	△		
ゲーム・WEBデザイン	コミックイラスト演習	2	●B		4						60	30		○	○	○	○	○	△		
	コミックイラスト実習Ⅰ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	コミックイラスト実習Ⅱ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	コミックイラスト実習Ⅲ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	ゲーム演習	2	●B		4						60	30		○	○	○	○	○	△		
関連科目	Webデザイン演習	2	●B		4						60	30		○	○	○	○	○	△		
	ゲーム・Webデザイン実習Ⅰ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	ゲーム・Webデザイン実習Ⅱ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	ゲーム・Webデザイン実習Ⅲ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	ゲーム・Webデザイン実習Ⅳ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	ゲーム・Webデザイン実習Ⅴ	2	○			4					60	30		○	○	○	○	○	△		
	知的財産権	2	○				2				30	60		○					○		
	タイポグラフィ	2	○			2					30	60		△	○				○		
	コピーライティング	2	○			2					30	60		△					○		
	コミュニケーション論	2	○			2					30	60		△					○		
	会話分析	2	○			2					30	60		△					○		
	コンピュータ演習Ⅰ	2	○	4							60	30		△	○				○		
	コンピュータ演習Ⅱ	2	○		4						60	30		△	○				○		
	情報ネットワーク概論	2	○			2					30	60		○		○			○		
	情報と職業	2	○			2					30	60		○					○		
情報社会とモラル	2	○			2					30	60		○					○			
プログラミング基礎Ⅰ	2	○			4					60	30		○	○				○			
プログラミング基礎Ⅱ	2	○			4					60	30		○	○				○			
情報システム基礎	2	○				2				30	60		○	○				○			
文化財学概論	2	○				2				30	60		△					○			
博物館概論	2	○			2					30	60		△					○			
博物館資料論	2	○			2					30	60		△					○			
アートマネジメント	2	○			2					30	60		△					○			
博物館経営論	2	○				2				30	60		△					○			
博物館資料保存論	2	○				2				30	60		△					○			
博物館展示論	2	○			1	1				30	60		△					○			
博物館実習	3	○					3	3		90	45		△					○			
博物館学特論	2	○			2					30	60		△					○			
総合プロジェクト実習Ⅰ	2	○				4				60	30			○				○			
総合プロジェクト実習Ⅱ	2	○				4				60	30			○				○			
プロジェクト演習	2	○	1	1						30	60		○					○			
総合プロジェクト演習	2	○			1	1				30	60		○					○			
卒業研究	10	○						10	10		300	150		○					○		

デザイン芸術学科専攻科目（27生）カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数			備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与				
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習	実験・実習		1-(1) デザイン、美術工芸に関する知識を身につける。	1-(2) デザイン、美術工芸に関する技術力を身につける。	1-(3) デザイン、美術工芸に関する構成力を身につける。	1-(4) デザイン、美術工芸に関する表現力を身につける。	1-(5) デザイン、美術工芸の諸領域を融合した総合的なデザイン芸術の応用的知識及び技能を身につけ、専門分野の諸問題を自ら解決できる。
				前	後	前	後	前	後	前	後									
				10		10		30		150										
芸術学	西洋美術史	2	◎	2							30	60		◎						
	日本美術史	2	◎		2						30	60		◎						
	東洋美術史	2	○			2					30	60		◎						
	デザイン史	2	○	2							30	60		◎						
	工芸史	2	○		2						30	60		◎						
	ファッション文化史	2	○			2					30	60		◎						
	日本近代美術史	2	○			2					30	60		◎						
	美学・芸術学概論	2	○	2							30	60		◎						
	現代芸術論	2	○		2						30	60		◎						
	デザイン概論	2	○		2						30	60		◎						
	構成論	2	○	2							30	60		◎						
	図学	2	○	2							30	60		◎						
	色彩学	2	○		2						30	60		◎						
	デザイン理論Ⅰ	2	○			2					30	60		◎						
	デザイン理論Ⅱ	2	○			2					30	60		◎						
	サステナブルデザイン論	2	○				2				30	60						◎		
ユニバーサルデザイン論	2	○				2				30	60						◎			
デザイン芸術特論	2	○					2			30	60						◎			
基礎科目	絵画基礎Ⅰ	2	◎	4						60	30		◎	○						
	絵画基礎Ⅱ	2	◎		4					60	30		◎	○						
	絵画基礎Ⅲ	2	○			4				60	30		◎	○						
	彫刻基礎	2	◎	4						60	30		◎	○						
	工芸基礎	2	◎		4					60	30		◎	○						
	デザイン基礎Ⅰ	2	◎	4						60	30		◎	○						
	デザイン基礎Ⅱ	2	◎		4					60	30		◎	○						
	コンピュータ演習Ⅰ	1	○	2						30	15		◎	○						
	コンピュータ演習Ⅱ	1	○		2					30	15		◎	○						
	製図演習Ⅰ	1	○	2						30	15		◎	○						
	製図演習Ⅱ	1	○		2					30	15		◎	○						
	デザイン芸術技法演習	2	○			4				60	30		◎	○						
	デザイン芸術表現演習	2	○				4			60	30		◎	○						
	材料学	2	○			2				30	60		◎					△		
専門科目	美術工芸演習Ⅰ	2	○		4					60	30		○	◎	○					
	美術工芸演習Ⅱ	2	○			4				60	30		○	◎	○					
	美術工芸演習Ⅲ	2	○				4			60	30		○	◎	○					
	美術工芸演習Ⅳ	2	○				4			60	30		○	◎	○					
	美術工芸演習Ⅴ	2	○				4			60	30		○	◎	○					
	デザイン演習Ⅰ	2	○			4				60	30		○	◎	○					
	デザイン演習Ⅱ	2	○			4				60	30		○	◎	○					
	デザイン演習Ⅲ	2	○				4			60	30		○	◎	○					
	デザイン演習Ⅳ	2	○				4			60	30		○	◎	○					
	美術工芸実習Ⅰ	6	○					12			180	90		○	◎	◎		◎		
	美術工芸実習Ⅱ	6	○						12		180	90		○	◎	◎		◎		
	デザイン実習Ⅰ	6	○						12		180	90		○	◎	◎		◎		
デザイン実習Ⅱ	6	○						12		180	90		○	◎	◎		◎			
総合プロジェクト科目	プロジェクト演習Ⅰ	2	◎	4						60	30							◎		
	プロジェクト演習Ⅱ	2	◎		4					60	30							◎		
	総合プロジェクト演習Ⅰ	2	○			4				60	30							◎		
	総合プロジェクト演習Ⅱ	2	○				4			60	30							◎		
	総合プロジェクト実習Ⅰ	2	○				4			60	30	くらしき若衆科目						◎		
	総合プロジェクト実習Ⅱ	2	○					4		60	30	くらしき若衆科目						◎		
	総合プロジェクト実習Ⅲ	2	○					4		60	30							◎		
	プロジェクトマネジメント論	2	○				2			30	60							◎		
関連科目	知的財産権	2	○					2		30	60							◎		
	映像表現史	2	○			2				30	60		△							
	メディア・アート論	2	○			2				30	60		△							
	認知科学概論	2	○				2			30	60		△							
	コピーライティング	2	○					2		30	60		△							
	タイポグラフィ	2	○			2				30	60		△							
	芸術文化論	2	○			2				30	60		○							
	文化財学概論	2	○				2			30	60		△							
	博物館概論	2	○			2				30	60		△							
	博物館学特論	2	○				2			30	60		△							
	博物館資料論	2	○				2			30	60		△							
	博物館経営論	2	○					2		30	60		△							
	博物館資料保存論	2	○						2	30	60		△							
	博物館展示論	2	○				1	1		30	60		△							
	博物館実習	3	○						3	3	90	45		△						
博物館教育論	2	○				2			30	60		△								
博物館情報・メディア論	2	○			2				30	60		△								
卒業研究	10	◎						10	10	300	150					◎		◎		

生命科学科専攻科目（27生）カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数			授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与			
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習	実験・実習			1-(1) 生命科学に関する基礎的な知識や技能を身につける	1-(2) 生命科学に関する専門的な知識や技能を身につける	1-(3) 生命科学に関する実践的な知識や技能を身につける	1-(4) 専門分野の諸問題を自ら解決できる力を身につける
				前	後	前	後	前	後	前	後									
専門基礎科目	基礎化学Ⅰ	2	○	30						30		60					○			
	基礎化学Ⅱ	2	○		30					30		60					○			
	★基礎数学	2	○	30						30		60					○			
	★基礎化学実験	2	○			60					60	30					○			
	★基礎物理学Ⅰ	2	○	30						30		60					○			
	★基礎物理学Ⅱ	2	○	30						30		60					○			
	基礎生物学Ⅰ	2	○	30						30		60					○			
	基礎生物学Ⅱ	2	○	30						30		60					○			
	基礎地学Ⅰ	2	○	30						30		60					○			
	基礎地学Ⅱ	2	○	30						30		60					○			
	物理化学Ⅰ	2	○		30					30		60					○			
	分析化学	2	○	30						30		60					○			
	有機化学	2	○	30						30		60					○			
	★生化学	2	○	30						30		60					○			
	基礎物理学実験	2	○		60						60	30					○			
	基礎生物学実験	2	○		60						60	30					○			
	基礎地学実験	2	○		60						60	30					○			
	無機化学Ⅰ	2	○	30						30		60					○			
	生命科学基礎実験	1	○	30							30	15					○			
	生命科学実験	3	○			90					90	45					○			
	基礎演習Ⅰ	2	○	30							30	60					○			
	基礎演習Ⅱ	2	○		30						30	60					○			
	特別演習Ⅰ	2	○		30						30	60					○			
	特別演習Ⅱ	2	○		30						30	60					○			
	特別演習Ⅲ	2	○			30					30	60					○			
	特別演習Ⅳ	2	○				30				30	60					○			
	基礎分子生物学	2	○		30						30	60					○			
	★薬理学	2	○				30				30	60					○			
	★生理学Ⅰ	2	○		30						30	60					○			
	★臨床免疫学Ⅰ	2	○		30						30	60					○			
	★電気工学概論Ⅰ	2	○		30						30	60					○			
	★電気工学概論Ⅱ	2	○		30						30	60					○			
	★電子工学概論Ⅰ	2	○		30						30	60					○			
	★電子工学概論Ⅱ	2	○			30					30	60					○			
	★看護学概論	2	○			30					30	60					○			
	★物性工学	2	○			30					30	60					○			
	★機械工学	2	○		30						30	60					○			
	★材料工学	2	○				30				30	60					○			
	★計測工学	2	○			30					30	60					○			
	★応用数学	2	○		30						30	60					○			
	★医学概論	2	○	30							30	60					○			
	★公衆衛生学	2	○		30						30	60					○			
	★解剖学	2	○		30						30	60					○			
	★病理学Ⅰ	2	○			30					30	60					○			
	★航空工学Ⅰ	2	○		30						30	60					○			
★航空工学Ⅱ	2	○		30						30	60					○				
減災・備災のすすめ	2	○			30					30	60					○				
減災・備災体験実習	1	○				30				30	15					○		△		
★医用工学実習	1	○		30						30	15					○		△		
★臨床生理学Ⅰ	2	○		30						30	60					○				
★臨床生理学Ⅱ	2	○			30					30	60					○				
★関係法規	2	○						30		30	60					○				
★医用機器学概論	2	○				30				30	60					○				
★医用治療機器学	2	○				30				30	60					○				
★医用治療機器学実習	1	○					45			45	0					○				
★生体計測装置学実習	1	○					45			45	0					○				
★生体機能代行装置学Ⅰ	4	○				60				60	120					○				
★生体機能代行装置学Ⅱ	4	○					60			60	120					○				
★生体機能代行装置学Ⅲ	2	○				30				30	60					○				
★生体機能代行装置学実習Ⅰ	1	○					45			45	0					○				
★生体機能代行装置学実習Ⅱ	1	○					45			45	0					○				
★生体機能代行装置学実習Ⅲ	1	○					45			45	0					○				
★医用機器安全管理学Ⅰ	2	○			30					30	60					○				
★医用機器安全管理学Ⅱ	2	○			30					30	60					○				
★医用機器安全管理学実習	1	○					45			45	0					○				
★臨床病態学Ⅰ	2	○					30			30	60					○				
★臨床病態学Ⅱ	2	○					30			30	60					○				
★臨床病態学Ⅲ	2	○						30		30	60					○				
★臨床病態学Ⅳ	2	○							30	30	60					○				
★臨床工学実習Ⅰ	1	○						45		45	0					○			○	
★臨床工学実習Ⅱ	1	○						45		45	0					○			○	
★臨床工学実習Ⅲ	1	○						45		45	0					○			○	
★臨床工学実習Ⅳ	1	○						45		45	0					○			○	
生命化学コース	グリーンケミストリー入門	2	○		30					30	60					○				
	天然物化学	2	○		30					30	60					○				
	医薬合成基礎	2	○				30			30	60					○				
	無機化学Ⅱ	2	○		30					30	60					○				
	物理化学Ⅱ	2	○			30				30	60					○				
	バイオテクノロジー	2	○				30			30	60					○				
	酵素化学	2	○		30					30	60					○				
	応用微生物学	2	○			30				30	60					○				
	食品機能学	2	○		30					30	60					○				
	水産動物学	2	○		30					30	60					○				
バイオコース	水界生態学	2	○			30				30	60					○				
	水族飼育技術論	2	○			30				30	60					○				
	香料学概論	2	○			30				30	60					○				
	化粧品科学	2	○				30			30	60					○				
	バイオテクノロジー	2	○				30			30	60					○				
	酵素化学	2	○		30					30	60					○				
	応用微生物学	2	○			30				30	60					○				
	生命科学セミナーⅠ	4	○		60					60	120					○			△	
	生命科学セミナーⅡ	4	○			60				60	120					○			△	
	生命科学セミナーⅢ	4	○				60			60	120					○			△	
生命科学セミナーⅣ	4	○																		

健康科学科 専攻科目 (27 生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数		備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与				
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	実験・実習		健康科学分野の基礎的な知識をつける	健康科学分野の専門的知識・技能を身に付ける	健康科学分野の実践的知識・技能を身に付ける	課題解決力を身につける	
				前	後	前	後	前	後	前	後								
共通専門科目	★ 生化学	2	○	30							30	60		◎					
	★ 生理学	2	○	30							30	60		◎					
	★ 運動生理学	2	○		30						30	60		◎					
	健康スポーツ概論	2	○	30							30	60		◎					
	健康管理概論	2	○	30							30	60		◎					
	食品栄養学	2	○	30							30	60		◎					
	食品学総論(食品加工学含む)	2	○	30							30	60		◎					
	栄養学概論	2	○		30						30	60		◎					
	生活習慣病予防	2	○		30						30	60		◎					
	メンタルヘルス	2	○	30							30	60		◎					
	カウンセリング	2	○		30						30	60		◎					
	★ 微生物学	2	○	30							30	60		◎					
	食品衛生学	2	○		30						30	60		◎					
	保健医療総論	2	○	30							30	60		◎					
	★ 環境保健科学	2	○	30							30	60		◎					
	学校保健	2	○		30						30	60		◎					
	★ 衛生学・公衆衛生学	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツ医学Ⅰ	2	○		30						30	60		◎					
	★ 一般救急救命	2	○			30					30	60		◎					
	健康・運動指導者コース	スポーツトレーニング理論	2	○	30							30	60		◎				
スポーツトレーニング実習		2	○	60							60	30		◎					
体力測定法(実習含む)		2	○		30						30	60		◎					
運動負荷試験(実習含む)		2	○			30					30	60		◎					
健康運動のプログラミング		2	○			30					30	60		◎					
運動処方		2	○			30					30	60		◎					
トレーニング科学		2	○			30					30	60		◎					
トレーニング実習		2	○			60					60	30		◎					
エアロビエクササイズ実習		2	○			60					60	30		◎					
ヒーリング実習		2	○			60					60	30		◎					
スポーツ心理学		2	○			30					30	60		◎					
スポーツ栄養学		2	○			30					30	60		◎					
スポーツ社会学		2	○			30					30	60		◎					
スポーツマネージメント		2	○			30					30	60		◎					
体育原理		2	○			30					30	60		◎					
発育・発達と老化		2	○			30					30	60		◎					
キッズスポーツ理論		2	○				30				30	60		◎					
キッズスポーツ実習		2	○				60				60	30		◎					
体表解剖学		2	○	30							30	60		◎					
ATコース		機能的解剖学	2	○		30						30	60		◎				
	アスレティックトレーナー概論	2	○		30						30	60		◎					
	スポーツ指導者基礎	2	○		30						30	60		◎					
	ストローク理論(実習含む)	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツ指導論Ⅰ	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツ指導論Ⅱ	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツコンディショニング理論	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツ医学Ⅱ	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツ医学Ⅲ	2	○			30					30	60		◎					
	スポーツ障害論	2	○			30					30	60		◎					
	テーピング理論(実習含む)	2	○			30					30	60		◎					
	バイオメカニクス	2	○			30					30	60		◎					
	バイオメカニクス演習	2	○			30					30	60		◎					
	アスレティックリハビリテーション理論	2	○			30					30	60		◎					
	アスレティックリハビリテーション実習	2	○			60					60	30		◎					
	アスレティックトレーナー実習Ⅰ	2	○			60					60	30		◎					
	アスレティックトレーナー実習Ⅱ	2	○			60					60	30		◎					
	アスレティックトレーナー実習Ⅲ	2	○			60					60	30		◎					
	救急救命士コース	★ 救急医学概論Ⅰ	2	○	60							60	30		◎				
		★ 救急医学概論Ⅱ	2	○	60							60	30		◎				
★ 解剖学		2	○	30							30	60		◎					
★ 病理学		2	○		30						30	60		◎					
★ 薬理学		2	○		30						30	60		◎					
★ 精神医学		2	○		60						60	30		◎					
★ 放射線科学		2	○		30						30	60		◎					
★ 内科学Ⅰ(総論)		2	○		60						60	30		◎					
★ 内科学Ⅱ(呼吸・循環系)		2	○		60						60	30		◎					
★ 内科学Ⅲ(消化器・内分泌系)		2	○			60					60	30		◎					
★ 内科学Ⅳ(神経系)		2	○			60					60	30		◎					
★ 外科学Ⅰ(総論)		2	○			60					60	30		◎					
★ 外科学Ⅱ(各論)		2	○			60					60	30		◎					
★ 小児科学		2	○			60					60	30		◎					
★ 整形外科		2	○			60					60	30		◎					
★ 医学検査		2	○			60					60	30		◎					
★ 産婦人科学		2	○			60					60	30		◎					
★ 脳外科学		2	○			60					60	30		◎					
★ 救命救助法		2	○			90					90	0		◎					
★ 救急・災害医療		2	○			30					30	60		◎					
★ シミュレーションⅠ	2	○		90						90	0		◎						
★ シミュレーションⅡ	2	○		90						90	0		◎						
★ シミュレーションⅢ	2	○		90						90	0		◎						
★ シミュレーションⅣ	3	○					135			135	0		◎						
★ 病院内実習	12	○						540		540	0		◎						
★ 救急車同乗実習	3	○					135			135	0		◎						
専門関連科目	生物環境科学	2	○	30						30	60		◎						
	バイオサイエンス	2	○		30					30	60		◎						
	環境リスク論	2	○			30				30	60		◎						
	ウィンタースポーツ実習	2	○	60							60	30		◎					
	生涯スポーツ論	2	○		30					30	60		◎						
	野外スポーツ実習論	2	○				30			30	60		◎						
	野外スポーツ実習	2	○				60			60	30		◎						
	スポーツ実習Ⅰ(陸上)	2	○				60			60	30		◎						
	スポーツ実習Ⅱ(水泳)	2	○		60					60	30		◎						
	スポーツ実習Ⅲ(球技)	2	○			60				60	30		◎						
	スポーツ実習Ⅳ(武道)	2	○			60				60	30		◎						
	スポーツ実習Ⅴ(テニス)	2	○				60			60	30		◎						
	スポーツ実習Ⅵ(体操)	2	○				60			60	30		◎						
	減災・備災のすすめ	2	○			30				30	60		◎						
	減災・備災体験実習	1	○			30				30	15		◎						
ゼミナール	4	○			30	30				60	120		◎						
卒業研究	6	○					90	90			180	90		◎					
基礎演習	2	○	15	15						30	60		◎						

動物生命科学科専攻科目 (27 生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修 選択 別	毎週授業時間数								総授業 時間数		備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与				
				1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		講義	演習		実験・実習	(1) 動物や動物医療 に関する基礎的 な知識および技 能を身につける	(2) 動物看護・動物 実験に関する知 識および技能を 身につける	(3) 知識・技能を実 際の現場に応用 できる力を身に つける	(4) 専門分野の諸問 題を解決できる 力を身につける
				前	後	前	後	前	後	前	後								
専門 基礎 科目	生命科学演習	4	○	60							60	120		◎					
	生物統計学	2	○	30						30		60		○					
	動物進化論 I	2	○		30					30		60		△					
	バイオサイエンス	2	○	30						30		60		△					
	環境リスク論	2	○		30					30		60		△					
	放射線科学	2	○		30					30		60		△					
	基礎化学 I	2	○	30						30		60		△					
	基礎化学 II	2	○	30						30		60		△					
	基礎物理学 I	2	○	30						30		60		△					
	基礎物理学 II	2	○	30						30		60		△					
	基礎生物学 I	2	○	30						30		60		△					
	基礎生物学 II	2	○	30						30		60		△					
	基礎地学 I	2	○	30						30		60		△					
	基礎地学 II	2	○	30						30		60		△					
	基礎化学実験	2	○		60						60	30		△					
	基礎物理学実験	2	○	60							60	30		△					
	基礎生物学実験	2	○		60						60	30		△					
	基礎地学実験	2	○		60						60	30		△					
	無機化学 I	2	○	30						30		60		△					
	無機化学 II	2	○	30						30		60		△					
	物理化学 I	2	○		30					30		60		△					
	物理化学 II	2	○		30					30		60		△					
	有機化学	2	○	30						30		60		△					
	基礎分子生物学	2	○		30					30		60		△					
	天然物化学	2	○		30					30		60		△					
	専門 科目	生命関連法規	2	○	30						30		60			◎			
		動物機能形態学 I	2	○	30						30		60			◎			
動物機能形態学 II		2	○	30						30		60			◎				
動物機能形態学 III		2	○	30						30		60			◎				
動物機能形態学 IV		2	○	30						30		60			◎				
動物微生物学		2	○	30						30		60			◎				
動物福祉論		2	○	30						30		60			◎				
動物飼養管理学		2	○	30						30		60			◎				
動物薬理学 I		2	○		30					30		60			◎				
動物病理学		2	○		15	15				30		60			◎				
動物栄養学		2	○		30					30		60			◎				
動物感染症学		2	○		30					30		60			◎				
動物薬理学 II		2	○		30					30		60			◎				
人間動物関係学 I		2	○			30				30		60			◎				
動物行動心理学		2	○			30				30		60			◎				
公衆衛生学		2	○				30			30		60			◎				
動物看護技術学		2	○	30						30		60			◎				
動物内科看護学		2	○		30					30		60			◎				
動物看護技術学実習 I		2	○	60							60	30			◎				
動物看護技術学実習 II		2	○	60							60	30			◎				
動物看護学概論		2	○		30					30		60			◎				
動物臨床検査学 I		2	○		30					30		60			◎				
動物臨床検査学 II		2	○		30					30		60			◎				
動物臨床検査学実習 I		2	○		60						60	30			◎				
動物臨床検査学実習 II		2	○		60						60	30			◎				
動物臨床栄養学		2	○		30					30		60			◎				
動物画像検査技術学		2	○		30					60		30			◎				
動物画像検査技術学実習		1	○		30						30	15			◎				
動物臨床看護学総論		2	○			30				30		60			◎				
動物臨床看護学各論 I		2	○			30				30		60			◎				
動物臨床看護学各論 II		2	○				30			30		60			◎				
動物臨床看護学各論 III		2	○				30			30		60			◎				
動物臨床看護学演習		2	○			30				30		60			◎				
動物臨床看護技術学		2	○			30				30		60			◎				
動物臨床看護技術学実習		1	○			30					30	15			◎				
動物外科看護学		2	○			30				30		60			◎				
動物外科看護学実習		2	○			60					60	30			◎				
動物歯科衛生学演習		2	○			15	15				30	60			◎				
臨床実習		4	○					60	60			120	60			◎			
実験動物学		2	○			30				30		60			◎				
実験動物学演習		4	○					30	30		30	60			◎				
動物発生工学演習		2	○			30	30				30	60			◎				
食品・環境衛生学演習		2	○				30			30		60			◎				
人間動物関係学 II		2	○				30			30		60			◎				
動物微生物学実習		1	○			30				30	30	15			◎				
野生動物学		2	○				30					60			◎				
産業動物学		2	○			30				30		60			◎				
減災・備災のすすめ	2	○			30				30		60				△				
減災・備災体験実習	1	○				30				30	15				△				
特別講義	2	○		15	15				30		60				△				
卒業研究	8	○					120	120			240	120				◎			

生命医科学科専攻科目（27 生） カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数		備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与			
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習・実験・実習		1-(1) 臨床検査医学に関する基礎的な知識、技能および倫理観を身につける。	1-(2) 臨床検査医学に関する専門的な知識、技能および倫理観を身につける。	1-(3) 臨床検査医学に関する実践的な知識、技能および倫理観を身につける。	1-(4) 臨床検査医学に関する専門分野の諸問題を自ら解決する力を身につける。
				前	後	前	後	前	後	前	後							
専門基礎科目	基礎化学Ⅰ	2	○	30							30	60		○				
	基礎化学Ⅱ	2	○	30							30	60		○				
	基礎化学実験	2	○			60						60	30		△			
	基礎物理学Ⅰ	2	○	30							30	60		△				
	基礎物理学Ⅱ	2	○	30							30	60		△				
	基礎生物学Ⅰ	2	○	30							30	60		○				
	基礎生物学Ⅱ	2	○	30							30	60		○				
	基礎地学Ⅰ	2	○	30							30	60		△				
	基礎地学Ⅱ	2	○	30							30	60		△				
	物理化学Ⅰ	2	○		30						30	60		△				
	物理化学Ⅱ	2	○			30					30	60		△				
	分析化学	2	○		30						30	60		○				
	有機化学	2	○		30						30	60		○				
	基礎物理学実験	2	○		60							60	30		△			
	基礎生物学実験	2	○			60						60	30		△			
	基礎地学実験	2	○				60					60	30		△			
	無機化学Ⅰ	2	○	30							30	60		○				
	無機化学Ⅱ	2	○	30							30	60		○				
	基礎分子生物学	2	○		30						30	60		○				
	生物学入門	2	○				30				30	60		○				
基礎解剖学	1	◎	15							15	30		◎					
専門科目	生理学Ⅰ	2	◎	30							30	60		◎				
	生理学Ⅱ	2	◎	30							30	60		◎				
	生理学実習	1	◎		45							45	0		◎			
	臨床生理学Ⅰ	2	◎		30						30	60			◎			
	臨床生理学Ⅱ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床生理学Ⅲ	2	◎				30				30	60			◎			
	臨床生理学実習	2	◎				90					90	0			◎		
	病理学Ⅰ	2	◎			30					30	60			◎			
	病理学Ⅱ	2	◎				30				30	60			◎			
	病理学実習	1	◎				45					45	0			◎		
	解剖学	2	◎		30						30	60		◎				
	解剖学実習	1	◎			45						45	0			◎		
	組織学	2	◎			30					30	60			◎			
	生化学Ⅰ	2	◎	30							30	60		◎				
	生化学Ⅱ	2	◎		30						30	60		◎				
	生化学実習	1	◎			45						45	0			◎		
	臨床化学Ⅰ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床化学Ⅱ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床化学実習	3	◎				135					135	0			◎		
	臨床微生物学Ⅰ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床微生物学Ⅱ	2	◎			30					30	60			◎			
	微生物学実習	1	◎				45					45	0			◎		
	臨床血液学Ⅰ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床血液学Ⅱ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床血液学実習	2	◎				90					90	0			◎		
	医学概論	2	◎	30							30	60		◎				
	臨床検査総論	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床検査総論実習	1	◎			45						45	0			◎		
	公衆衛生学	2	◎				30				30	60			◎			
	医用工学概論	1	◎					30			30	15				◎		
	医用工学実習	1	◎					30				30	15			◎		
	検査機器論	3	◎		45						45	90	0			◎		
	臨床免疫学Ⅰ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床免疫学Ⅱ	2	◎			30					30	60			◎			
	臨床免疫学実習	2	◎				90					90	0			◎		
	検査管理総論(関係法規含む)	2	◎				30				30	60			◎			
	生命社会科学概論	1	◎				15				15	30			◎			
	臨床病理学	2	◎				30				30	60			◎			
	医動物学	2	◎				30				30	60			◎			
	医動物学実習	1	◎				30					30	15			◎		
放射線化学	2	◎			30					30	60			◎				
RⅠ検査学	2	◎				30				30	60			◎				
試薬と機器	1	◎				15				15	30				◎			
情報科学実習	2	◎		60							60	30		△				
薬理学	2	◎				30				30	60				◎			
遺伝子検査学	2	◎				30				30	60			◎				
臨床実習	5	◎					225				225	0			◎			
臨床検査学特論Ⅰ	2	◎					30			30	60			◎				
臨床検査学演習Ⅰ	2	◎					30			30	60			◎				
臨床検査学特論Ⅱ	2	◎					30			30	60			◎				
臨床検査学演習Ⅱ	2	◎					30			30	60			◎				
細胞学総論Ⅰ	2	◎			30					30	60			◎				
細胞学総論Ⅱ	2	◎			30					30	60			◎				
臨床細胞学演習Ⅰ	1	◎				30				30	15			◎				
臨床細胞学演習Ⅱ	1	◎				30				30	15			◎				
医療安全管理学	1	◎					15			30	15			◎				
医療安全管理学実習	1	◎					30				30	15			◎			
減災・備災のすすめ	2	◎			30					30	60				△			
減災・備災体験実習	1	◎				30					30	15				△		
細胞診断学特論Ⅰ	2	◎					90			90	0			◎				
細胞診断学特論Ⅱ	2	◎					90			90	0			◎				
細胞診断学特論Ⅲ	2	◎					90			90	0			◎				
細胞診断学特論Ⅳ	1	◎						45		45	0			◎				
細胞診断学特論Ⅴ	1	◎						45		45	0			◎				
細胞診断学特論Ⅵ	1	◎						45		45	0			◎				
卒業研修	8	◎						120	120		240	120				◎		

【履修上の注意】

- 臨床実習は、学外の提携病院において行う。
- ダブルライセンスを希望する学生は「細胞学総論Ⅰ・Ⅱ」「臨床細胞学演習Ⅰ・Ⅱ」および「細胞診断学特論Ⅰ～Ⅵ」を修得すること。
- 臨床検査技師のみ希望の学生は「卒業研修」を修得することが望ましい。

危機管理学科専攻科目 (27 生) カリキュラムとディプロマポリシーの関与を示す表

系列	授業科目	単位数	必修選択別	毎週授業時間数								総授業時間数		授業外学習時間数	備考	ディプロマポリシーに対する関与の程度 ◎非常に強く関与 ○強く関与 △ある程度関与					
				1年次		2年次		3年次		4年次		講義	演習			実験・実習	1-(1) 経済・経営分野の知識を身につける。	1-(2) 社会人として活躍するための危機管理に関する基礎的な知識及び技能を身につける。	1-(3) 経済・経営分野に関連する危機管理の知識及び技能を身につけ、一般企業、官公庁などの事業継続計画(BCP)を立案できる。	1-(4) 専門分野の諸問題を自ら解決できる。	3 地域社会の構成員として活躍できる。
				前	後	前	後	前	後	前	後										
専門基礎科目	危機管理学概論	2	◎	2							30	60			◎						
	リスクマネジメント	2	◎		2						30	60			◎						
	リスク・コミュニケーション	2	◎		2						30	60			◎						
	危機管理と社会制度	2	◎			2					30	60			◎						
	経済学概論	2	◎	2							30	60		◎							
	ミクロ経済学	2	◎		2						30	60		◎							
	マクロ経済学	2	◎			2					30	60		◎							
	経営学概論	2	◎	2							30	60		◎							
	観光概論	2	◎	2							30	60		◎							
	リーダーシップ論	2	◎			2					30	60		◎							
	自然災害論	2	◎		2						30	60			○		○				
	災害対策概論	2	◎		2						30	60			○		○				
	ITと経営	2	◎	2							30	60		◎		○					
	情報社会とモラル	2	◎	2							30	60			○						
	情報ネットワーク概論	2	◎		2						30	60			○						
プログラミング基礎	2	◎			2					30	60			○		△					
入門統計学	2	◎		2						30	60			○		○					
公務員概論	2	◎	2							30	60			○				◎			
救命救助法入門	1	◎		2						30	15	30h 実験・実習科目		○				◎			
警察概論	2	◎		2						30	60			○				◎			
消防概論	2	◎		2						30	60			○				◎			
安全保障学入門	2	◎			2					30	60			○				◎			
民法(財産法)	2	◎		2						30	60			○				◎			
キャリア研究	2	◎		2						30	60	くらしき若菜科目		○				○			
観光危機管理概論	2	◎	2							30	60		◎	○				△			
事業継続計画(BCP)	2	◎			2					30	60			○		◎		△			
リスク評価論	2	◎			2					30	60			○							
リスク認知論	2	◎				2				30	60			○							
経済情勢	2	◎		2						30	60		◎								
財政学	2	◎		2						30	60		◎								
金融論	2	◎			2					30	60		◎								
保険学	2	◎			2					30	60		◎								
地域アントレプレナーシップ論	2	◎			2					30	60		◎								
会計原理	2	◎			2					30	60		◎								
国際経済論	2	◎				2				30	60		◎								
簿記論(演習含む)	2	◎				2				30	60		◎								
企業論	2	◎		2						30	60		◎								
ツーリズム産業研究	2	◎		2						30	60		◎								
会社法	2	◎		2						30	60			○		◎					
行政法	2	◎			2					30	60			○		◎					
マーケティング論	2	◎			2					30	60		◎								
経済法	2	◎				2				30	60			○							
消費者行動論	2	◎				2				30	60		◎								
国際取引法	2	◎				2				30	60			○		◎					
特別ビジネス講義	2	◎				2				30	60		◎								
企業経営論	2	◎				2				30	60		◎								
産業安全管理論	2	◎				2				30	60			○		◎		○			
市民防災論	2	◎		2						30	60			○		◎		○			
情報セキュリティ	2	◎	2							30	60			◎							
経済統計解析学	2	◎			2					30	60			◎							
データ管理と情報検索	2	◎				2				30	60			◎							
データ解析	2	◎					2			30	60			◎							
行政システム論	2	◎			2					30	60			○				◎			
地域政策論	2	◎			2					30	60			○				◎			
金融と生活リスク	2	◎				2				30	60			○				◎			
教養ゼミナールⅠ	1	◎	2							30	15	30h ゼミナール科目						◎			
教養ゼミナールⅡ	1	◎		2						30	15	30h ゼミナール科目						◎			
危機管理基礎ゼミナールⅠ	1	◎			2					30	15	30h ゼミナール科目						◎			
危機管理基礎ゼミナールⅡ	1	◎				2				30	15	30h ゼミナール科目						◎			
キャリアディベロップメントⅠ	1	◎				2				30	15	30h ゼミナール科目						◎			
キャリアディベロップメントⅡ	1	◎					2			30	15	30h ゼミナール科目						◎			
インターンシップ	2	◎				2				30	60	30h 演習科目			○			◎			
文献講読	2	◎				2				30	60	30h 演習科目						◎			
プロジェクト実習Ⅰ	1	○				2				30	15	30h 実験・実習科目 くらしき若菜科目			○			◎			
プロジェクト実習Ⅱ	1	○					2			30	15	30h 実験・実習科目 くらしき若菜科目			○			◎			
卒業研究	8	◎						8	8	240	120	240h 実験・実習科目						◎			

教養科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
2-(1) 大学での学びの基礎となる資質能力を身につける	◎コンピュータリテラシ■	芸術と科学の協調						◎必修科目 選択科目 卒業・進級に含めない
	社会と倫理							■教員免許 第66条の6に定める科目
2-(2) 人間の本質を理解し、人間性を尊重できる	1～4年次 現代の芸術 くらしと芸術 メディア映像論 哲学 文学 日本の伝統芸能 宗教学 心理学 言語学							
2-(3) 社会との関わりを認識し、論理的・批判的思考力を身につける	1～4年次 日本国憲法■ 政治学 歴史学 異文化理解 法学 経済学 マスコミ論							
2-(4) 自然との関わりを認識し、論理的・批判的思考力を身につける	1～4年次 地球科学 数学 化学 生物学 物理学 統計学							
2-(5) 異文化理解を深め、コミュニケーション能力を身につける	◎英語Ⅰ(日本人)	◎英語Ⅱ(日本人)	英語Ⅲ(日本人)	英語Ⅳ(日本人)				
	◎日本語Ⅰ・Ⅱ(留学生)	◎日本語Ⅲ・Ⅳ(留学生)			英会話Ⅰ■	英会話Ⅱ		
	中国語Ⅰ	中国語Ⅱ						
	ハングルⅠ	ハングルⅡ						
2-(6) 健康的な生活を営むことができる		保健体育概論■						
	保健体育実技Ⅰ■	保健体育実技Ⅱ■						
	1～4年次 生活と健康							
3 地域社会の構成員として活躍できる	◎倉敷と仕事 (◎倉敷と仕事)	人生と仕事						
		キャリア・ラーニング						
	くらしき若衆科目群							
4 芸術的なセンスや科学的な思考法に基づいた豊かな創造性を持って活躍できる		芸術と科学の協調						
	芸術と科学の協調推奨科目群							
その他	基本数学	基本英語	基本化学	基本物理				

メディア映像学科 専攻科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

教育目標：新しいメディア環境に対応した芸術表現の創造と産業の関わりに向けて、幅広い知識と専門領域の技術を身につけて、積極的に社会参加できる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名								
	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1-1) メディア、メディアコンテンツに関する知識を身につける。	西洋美術史■			芸術文化論■					◎必修科目 ○選択科目 ●選択必修科目
				現代芸術論		知的財産権■			■教員免許(情報)教科に関する科目 ■博物館学芸員資格に関する科目の履修
1-1) メディア、メディアコンテンツに関する知識を身につける。	デザイン史■	色彩学		構成論					
	アニメーション概論	映像概論■	シナリオ論		コンテンツ表現論 I	コンテンツ表現論 II			映像特論 I デザイン特論 I
1-1) メディア、メディアコンテンツに関する知識を身につける。			映像音響概論■	情報デザイン概論■	メディア・アート論■				
			認知科学概論						
1-1) メディア、メディアコンテンツに関する知識を身につける。		グラフィックデザイン概論■		ユニバーサルデザイン論					
					ゲームプロデュース論				
1-2) メディアコンテンツに関する技術力を身につける。				音声技術					
				サウンドデザイン演習■	サウンドデザイン実習				
1-2) メディアコンテンツに関する技術力を身につける。	◎コンピュータ演習 I	◎コンピュータ演習 II	デジタル画像■	3DCG I ■	3DCG II ■				
	造形基礎演習 I	造形基礎演習 II・III							
1-2) メディアコンテンツに関する技術力を身につける。		●写真基礎							
		●アニメーション基礎	●アニメーション演習■		アニメーション実習 I	アニメーション実習 II			
1-2) メディアコンテンツに関する技術力を身につける。					アニメーション実習 III				
	●マンガ基礎			●マンガ演習■	マンガ実習 I	マンガ実習 II			
1-3) メディアコンテンツに関する構成力を身につける。					マンガ実習 III				
1-4) メディアコンテンツに関する表現力を身につける。	●イラストレーション基礎	●2DCG■	●コミックイラスト演習■		コミックイラスト実習 I	コミックイラスト実習 II			
					コミックイラスト実習 III				
1-4) メディアコンテンツに関する表現力を身につける。				●ゲーム演習■	ゲーム・Webデザイン実習 I	ゲーム・Webデザイン実習 II			
	●デザイン基礎		●Webデザイン演習■		ゲーム・Webデザイン実習 III	ゲーム・Webデザイン実習 IV■			
1-4) メディアコンテンツに関する表現力を身につける。			プログラミング基礎 I ■	プログラミング基礎 II ■		ゲーム・Webデザイン実習 V■			
	●映像基礎		●映像演習■		映像・放送実習 I	映像・放送実習 II			
1-4) メディアコンテンツに関する表現力を身につける。					映像・放送実習 III				
1-5) メディアの諸領域を融合した総合的なコンテンツ制作の応用的知識及び技能を身につけ、専門分野の諸問題を自ら解決できる。	◎プロジェクト演習		◎総合プロジェクト演習		総合プロジェクト実習 I	総合プロジェクト実習 II			◎卒業研究
その他 関連科目			コミュニケーション論	タイポグラフィー	文化財学概論■			博物館資料保存論■	
			博物館概論■	コピーライティング	情報システム基礎■			博物館実習■	
その他 関連科目			会話分析	アートマネジメント	博物館経営論■				
			情報ネットワーク概論■		博物館展示論■				
その他 関連科目			情報と職業■	情報社会とモラル■					
			博物館資料論■	博物館学特論■					

デザイン芸術学科 専攻科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

教育目標：デザイン、美術、工芸の諸領域を幅広く融合した総合的な芸術教育研究を行うことを目的とする。個別の領域の専門家であるだけでなく、総合的な見地から社会、産業、生活のニーズに対して新たな価値を創出できる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1- (1) デザイン、美術工芸に関する知識を身につける。 1- (2) デザイン、美術工芸に関する技術力を身につける。 1- (3) デザイン、美術工芸に関する構成力を身につける。 1- (4) デザイン、美術工芸に関する表現力を身につける。 1- (5) デザイン、美術工芸の諸領域を融合した総合的なデザイン芸術の応用的知識及び技能を身につけ、専門分野の諸問題を自ら解決できる。	美学・芸術学概論 ■	現代芸術論 ■		芸術文化論 ■				
	◎西洋美術史 ■	◎日本美術史 ■	日本近代美術史 ■					
			東洋美術史 ■					
	デザイン史 ■	工芸史 ■	ファッション文化史 ■					
	構成論 ■	色彩学 ■						
	◎デザイン基礎 I ■	◎デザイン基礎 II ■						
	◎絵画基礎 I ■	◎絵画基礎 II ■						
	◎彫刻基礎 ■							
	図学 ■	◎工芸基礎 ■						
	製図演習 I ■	製図演習 II ■	デザイン芸術技法演習 ■	デザイン芸術表現演習 ■				
	コンピュータ演習 I ■	コンピュータ演習 II ■						
	デザイン概論 ■	デザイン理論 I ■	デザイン理論 II ■					
		材料学 ■						
		デザイン演習 I ■	デザイン演習 III ■					
		デザイン演習 II ■	デザイン演習 IV ■					
		美術工芸演習 I ■	美術工芸演習 III ■					
		美術工芸演習 II ■	美術工芸演習 IV ■					
			美術工芸演習 V ■					
				デザイン実習 I ■	デザイン実習 II ■			
				美術工芸実習 I ■	美術工芸実習 II ■			
			サステナブルデザイン論 ■				デザイン芸術特論 ■	
			ユニバーサルデザイン論 ■	プロジェクトマネジメント論 ■	知的財産権 ■			
◎プロジェクト演習 I ■	◎プロジェクト演習 II ■	総合プロジェクト演習 I ■	総合プロジェクト演習 II ■	総合プロジェクト実習 I ■	総合プロジェクト実習 II ■		総合プロジェクト実習 III ■	
							◎卒業研究 ■	
その他関連科目			メディア・アート論 ■	映像表現史 ■	認知科学概論 ■	コピーライティング ■		
			絵画基礎 III ■	タイポグラフィ ■				
			博物館概論 ■	博物館学特論 ■	文化財学概論 ■	博物館経営論 ■	博物館資料保存論 ■	
			博物館教育論 ■	博物館資料論 ■	博物館展示論 ■		博物館実習 ■	
			博物館情報・メディア論 ■					

生命科学科 専攻科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

教育目標：生命化学、食品科学、環境科学、水産科学および医用工学の各分野で生命を支える生命科学を教育し、持続的な社会形成に貢献できる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名								
	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1- (1) 生命科学に関する 基礎的な知識や技術 を身につける	◎基礎演習 I	◎基礎演習 II	◎特別演習 I	◎特別演習 II	◎特別演習 III				
	◎生命科学 基礎実験			◎基礎化学 実験					
	基礎化学 I	基礎化学 II							
		分析化学							
		有機化学							
	無機化学 I								
	基礎数学	応用数学							
	基礎物理学 I	基礎物理学 II	物理化学 I	物性工学			材料工学		
		基礎物理学 実験	機械工学						
		電気工学 概論 I	電気工学 概論 II	計測工学					
		電子工学 概論 I	電子工学 概論 II						
基礎生物学 I	基礎生物学 II	基礎生物学 実験							
	生化学	臨床免疫学 I	看護学概論			薬理学			
	解剖学								
	生理学 I	基礎分子 生物学							
基礎地学 I	基礎地学 II	基礎地学 実験							
		航空医 工学 I							
		航空医 工学 II							
医学概論	公衆衛生学	病理学 I							
1- (2) 生命科学に関する 専門的な知識や技術 を身につける			医用工学 実習	医用機器安全 管理学 I	医用機器学 概論	生体機能代行 装置学 I	生体機能代行 装置学 II		
					生体機能代行 装置学 II	医用治療 機器学			
			臨床生理学 I	臨床生理学 II				臨床病態 学 I	関係法規
								臨床病態 学 III	臨床病態 学 IV
					物理化学 II				
		無機化学 II							
		天然物化学			医薬合成 基礎				
		香科学概論			香粧品科学				
		グリーンケミ ストリー入門							
		酵素化学			応用微生物学	バイオテク ノロジー			
	食品機能学								
	水生動物学	水産飼育技術論	水界生態学						
1- (3) 生命科学に関する 実践的な知識や技術 を身につける					◎生命科学 実験				
			生命科学 ゼミナール I	生命科学 ゼミナール II	生命科学 ゼミナール III	生命科学 ゼミナール IV	◎特別演習 IV		
								医用治療 機器学実習	
								生体計測 装置学実習	
								生体機能代行 装置学実習 I	
1- (4) 専門分野の諸問題 を自ら解決できる 力を身につける								生体機能代行 装置学実習 II	
								生体機能代行 装置学実習 III	
								医用機器安全 管理学実習	
									臨床工学 実習 I
									臨床工学 実習 II
その他 関連科目									臨床工学 実習 III
									臨床工学 実習 IV
									卒業研究

動物生命科学科 専攻科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

教育目標：急速に変化しつつある現代社会に新たな視野をもって対応し、動物と人間の関わり の領域を中心に、より良い社会環境、生活環境の構築のために働くことのできる人材の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名											
	1年次		2年次		3年次		4年次					
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
(1) 動物や動物医療に関する基礎的な知識および技能を身につける	生命科学演習 生物統計学								◎必修科目 ○選択科目 ■教員免許(理科)教科に関する科目 ■博物館学芸員資格に関する科目の履修			
(2) 動物看護・動物実験に関する知識および技能を身につける	動物福祉論 動物機能形態学 I ■ 動物機能形態学 III ■	生命関連法規 動物機能形態学 II ■ 動物機能形態学 IV ■	動物薬理学 I 動物病理学	動物薬理学 II	動物臨床検査学 I 動物臨床検査学実習 I	動物臨床検査学 II 動物臨床検査学実習 II	動物飼養管理学 動物栄養学 動物臨床栄養学	産業動物学 野生動物学	動物微生物学 ■ 動物感染症学	動物画像検査技術学 動物画像検査技術学実習	動物微生物学実習 動物臨床看護学総論 動物臨床看護学各論 I 動物臨床看護学各論 II 動物臨床看護学各論 III 動物臨床看護学演習 動物臨床看護技術学 動物臨床看護技術学実習 動物外科看護学	公衆衛生学 食品・環境衛生学演習
(3) 知識・技能を実際の現場に応用できる力を身につける									臨床実習 実験動物学演習			
(4) 専門分野の諸問題を解決できる力を身につける									卒業研究			
その他 関連科目	基礎化学 I ■ 基礎物理学 I ■ 基礎生物学 I ■ 基礎地学 I ■	バイオサイエンス ■ 基礎化学 II ■ 基礎物理学 II ■ 基礎生物学 II ■ 基礎地学 II ■ 基礎物理学実験 ■ 有機化学 ■ 無機化学 I ■	物理化学 I ■ 基礎生物学実験 ■ 基礎分子生物学 ■ 天然物化学 ■ 基礎地学実験 ■ 基礎物理学実験 ■ 無機化学 II ■	動物進化論 I ■ 環境リスク論 ■ 放射線科学 ■ 基礎化学実験 ■ 基礎地学実験 ■ 物理化学 II ■ 特別講義 ■								

生命医科学科 専攻科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

教育目標：癌診断のスペシャリストである細胞検査士や臨床検査技師、さらには疾患治療基盤の確立を志向する医療人の養成を目標とする。

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1-1) 臨床検査医学に関する基礎的な知識、技能および倫理観を身につける。		分析化学 ■						
		有機化学 ■						
	生物学入門		基礎分子生物学 ■					
	◎生理学 I ■	◎生理学 II ■	◎生理学実習 ■					
	◎基礎解剖学	◎解剖学 ■	◎解剖学実習					
	◎生化学 I ■	◎生化学 II ■	◎組織学 ■	◎生化学実習 ■				
無機化学 II ■				◎公衆衛生学				
◎医学概論					◎医用工学概論			
					◎医用工学実習			
1-2) 臨床検査医学に関する専門的な知識、技能および倫理観を身につける。			◎臨床生理学 I	◎臨床生理学 II	◎臨床生理学 III	◎臨床生理学実習		
				◎病理学 I	◎病理学 II	◎病理学実習		
				試薬と機器	遺伝子検査学 ■			
			◎臨床化学 I ■	◎臨床化学 II ■	◎臨床化学実習 ■			
		◎検査機器論	◎臨床検査総論	◎臨床検査総論実習	◎検査管理総論	◎医療安全管理学	◎臨床実習	
					◎医療安全管理学実習			
			◎臨床微生物学 I	◎臨床微生物学 II	◎微生物学実習		◎臨床検査学特論 I	◎臨床検査学特論 II
					◎医動物学	◎医動物学実習	◎臨床検査学演習 I	◎臨床検査学演習 II
			◎臨床血液学 I	◎臨床血液学 II	◎臨床血液学実習		卒業研修	
			◎臨床免疫学 I	◎臨床免疫学 II	◎臨床免疫学実習			
					薬理学			
					◎臨床病理学			
			放射線化学		◎RI検査学			
			細胞学総論 I	細胞学総論 II	臨床細胞学演習 I	臨床細胞学演習 II	細胞診断学特論 I	細胞診断学特論 I~VI
						細胞診断学特論 II	細胞診断学特論 I~VI	
						細胞診断学特論 III	細胞診断学特論 I~VI	
1-3) 臨床検査医学に関する実践的な知識、技能および倫理観を身につける。								
1-4) 臨床検査医学に関する専門分野の諸問題を自ら解決する力を身につける。								
その他 関連科目	基礎化学 I ■	基礎化学 II ■	基礎生物学実験 ■	基礎化学実験 ■	生命社会科学概論			
	基礎物理学 I ■	基礎物理学 II ■	物理化学 I ■	物理化学 II ■				
	基礎生物学 I ■	基礎生物学 II ■		基礎地学実験 ■				
	基礎地学 I ■	基礎地学 II ■						
	無機化学 I ■	基礎物理学実験 ■						
		情報科学実習						

危機管理学科 専攻科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

教育目標：既存の産業のみならず新興分野にも有用な専門的知識・技術を生かして、地域社会にかかえている経営・経済問題の解決に貢献できることに加えて、経営・経済活動に直結、もしくはそれに多大な影響を与える分野に関する危機管理の知識をもあわせて身に付けることにより、企業や社会の持続的な発展に寄与できる人材の養成を目標とする。

達成目標	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1-1) 経済・経営分野の知識を身につける	経済分野 ◎経済学概論 ◎ミクロ経済学 ◎マクロ経済学 財政学 金融論 会計原理 経済情勢 保険学 国際経済論 地域アントレプレナーシップ論 簿記論(実習含む)							◎必修科目
	経営学分野 ◎経営学概論 ◎リーダーシップ論 ITと経営 企業論 リーダーシップ論 企業経営論 マーケティング論 消費者行動論 特別ビジネス講義							◎選択科目
	観光概論 観光危機管理概論 ツーリズム産業研究							
1-2) 社会人として活躍するための危機管理に関する基礎的な知識及び技能を身につける	◎危機管理学概論 ◎リスクマネジメント ◎リスク・コミュニケーション ◎危機管理と社会制度 リスク評価論 リスク認知論 金融と生活リスク							
	◎情報セキュリティ							
	情報社会とモラル		情報ネットワーク概論	プログラミング基礎	データ管理と情報検索			
1-3) 経済・経営分野に関連する危機管理の知識及び技能を身につけ、一般企業、官公庁などの事業継続計画(BCP)を立案できる。	◎キャリア研究							
	自然災害論		災害対策概論	事業継続計画(BCP)		産業安全管理論		
	市民防災論							
	入門統計学		経済統計解析学	データ解析				
	民法(財産法)		会社法	行政法	経済法	国際取引法		
1-4) 専門分野の諸問題を自ら解決できる。	◎教養ゼミナールⅠ		◎教養ゼミナールⅡ		◎危機管理基礎ゼミナールⅠ		◎危機管理基礎ゼミナールⅡ	
	◎キャリアディベロップメントⅠ		◎キャリアディベロップメントⅡ		◎卒業研究			
	インターンシップ							インターンシップ
	文献講読							
3 地域社会の構成員として活躍できる	公務員概論		警察概論	消防概論	安全保障学入門	プロジェクト実習Ⅰ	プロジェクト実習Ⅱ	
	救命救助法入門		行政システム論	地域政策論				
その他 関連科目								

くらしき若衆科目 (27 生) カリキュラム・ツリー

達成目標 (ディプロマポリシー)	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
3 地域社会の構成員として活躍できる	STEP1 (くらしき若衆・くらしき学科目)							
	◎倉敷と仕事 (◎倉敷と仕事)						◎必修科目	
							選択科目	
	STEP2 (くらしき若衆・地域貢献実践科目群)							
	倉敷まちづくり基礎論		倉敷まちづくり実践論		まちづくりインターンシップ		地域貢献実践	
					芸術学部専攻科目			
					総合プロジェクト実習Ⅰ		総合プロジェクト実習Ⅱ	
					危機管理学部 専攻科目			
			キャリア研究		プロジェクト実習Ⅰ		プロジェクト実習Ⅱ	
					生命科学部 専攻科目			
		減災・備災のすすめ		減災・備災体験実習				
STEP3 (くらしき若衆・若衆実践演習科目)								
				若衆実践演習				

「くらしき若衆」認定制度

「くらしき若衆」認定制度は、従来の地域コミュニティを支えていた「若者組と若者宿」の再生による倉敷の活性化をめざす取組です。江戸時代の若者が「使番」「小若衆」「中老」「宿老」とキャリアステージを段階的に経るにしたがって獲得してきた「地域活動の中核として活躍できる資質・能力」が、育成プログラムによって修得できます。若衆の認定を受けた学生が自信を持って就職し、まちづくりのリーダーとなる力量を証明する制度です。

「くらしき若衆」育成プログラム

- STEP3 まちづくりリーダーに求められる資質能力を育成
- STEP2 地域ニーズに対する自律的な問題解決能力を獲得
- STEP1 地域ニーズをテーマに主体的な学習態度を獲得